

油圧機器メーカーの東和製作所(美濃加茂市川合町)は、山手工場(同市本郷町)の2階にある社員食堂の一角を地域に開放し、一般食堂として13日にオープンする。地域住民に気軽に立ち寄ってもらえる開かれた工場を目指す。(土屋健一)

社員食堂、気軽に来て

東和製作所(美濃加茂市)きょうから開放



同社は、主として消防車やごみ収集車など特殊な「働く車」で使われる油圧シリンダ

を製造。山手工場は1月から稼働し、22人が働く。社員食堂の開放は、地域貢献の一

看板メニューの飛騨牛ハンバーグ定食を手に来店を呼びかける渡辺孝記さん(右)と板津英仁社長(左)＝美濃加茂市本郷町、東和製作所山手工場内の洋食堂ニトロ

開かれた工場目指す

山手工場では他にも地域住民に親しんでもらおうと、敷地の三角地に道路の視認性を高める八角柱と二宮金次郎の石像、歩行者が休憩できるベンチを設置している。

環として工場の設計段階から構想していた。厨房は共通としつつ、食堂スペースを社員向け(24席)と一般向け(26席)に仕切り、一般客は外階段から入店できる。板津英仁社長(65)は「社員に温かい料理を提供でき、地域にも開放することで食堂を効率的に運営できる」と話す。洋風居酒屋「Re: Nitro」(同市太田町)を運営する業者に委託し、今月6日から社員向けに日替わりランチなどを提供している。一般向け食堂の店名は「洋食堂ニトロ」。社員向けとは別メニューで、飛騨牛ハンバーグや鶏肉を揚げたパリパリトリ、豚肉のトンテキなどの定食を990円からリーズナブルにそろえ、ご飯はお代わり自由。営業は平日の午前11時～午後2時30分。オーナーの渡辺孝記さん(38)は「働く男性がランチでおなかいっぱいになってほしい」と来店を呼びかける。